

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	行事等は人数が多いため、やり方など工夫は必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	療育内容や利用児に合わせて適切に配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机の配置などを工夫することなど）になっていると思えますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	4	4	・音がうるさい。 ・部屋の入り口に扉のレールの段差がある為、マットを敷いて転倒を予防している。 ・揺れ具が付けられない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者評価は行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修に関する情報も回ってくるため、受講するきっかけになりやすい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	8	0	
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員間で活動プログラムに際して、意見交換などを行いながら立案している。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要時に各関係機関と連絡調整を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	就学先の学校と児の支援内容等や「個別支援計画書」を送付し情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	1	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	1	外部からの助言はあまり受けていない。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	5	今後は参加を希望する。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	移転先のため、保育所等との交流は中止している。移転中は地域の公園や散歩等に出掛け、地域と交流出来る場を設定している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とすることなど)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	8	0	保護者に対する勉強会を行っている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用料等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	8	0	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
保護者への説明等	39	2	6	運動会ではきょうだい競技を行い、交流が出来るようにしている。
	40	8	0	
	41	8	0	毎月ルームだよりや保健だよりを発行している。
	42	8	0	
	43	8	0	
	44	8	0	地域に開かれているかは不明。 地域より依頼があったボランティアの受入れを該当利用者の了解を得て行った。
非常時等の対応	45	8	0	緊急時避難訓練は毎月1回、実施している。 感染症対策では、マニュアルに沿って職員間で共有している。また、利用児が感染症に罹患した際には、登園許可書を提出して頂いている。
	46	8	0	
	47	8	0	
	48	8	0	
	49	8	0	
	50	6	2	
	51	8	0	ヒヤリハットは毎日共有している。
	52	8	0	
53	8	0		